

そよかぜ通信

第304号

発行

2025年10月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
調布市知的障害者援護施設そよかぜ

〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://jigyodan-chofu.com/soyokaze/>

ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。

施設通信



秋の音色が聴こえてきました！ ロータリークラブコンサート

着ぐるみのおんぶくんとリズムに乗って踊りました！

きれいな音のピアノにチェロ
そして楽しい音のマリンバ



アート班、新境地へ。



アート班の先生の工房へお邪魔しました！
ガチャポンのカプセルケースを細かく切って
並べて溶かしてみると・・・なんと！
とてもキレイな作品に生まれ変わるのです！
どんな作品が出来上がるのかワクワクしながら、
職人さんのように、集まって作業しました。

パラアート展、今年も そよかぜ出展します！

10月2日(木)から10月
8日(水)まで調布市文化会
館たづくりにて開かれます。
そよかぜをはじめ、いろ
んな福祉事業所や創造者の
方々の作品が展示されます。
機会がありましたらぜひご
覧になってください。



調布市福祉作業所等連絡会の加盟団体や特別子会社等で
活動するメンバーの作品を展示するアート展です。

調布市パラアート展 2025

令和7年10月2日 木 - 8日 水
10時～18時 (最終日は19時まで)
会場：調布市文化会館たづくり2階 南北ギャラリー
【北ギャラリー・アート部門】(南ギャラリー・音楽制作部門) 入場無料



そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅
やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、
陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各
種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生
活を送る為の通所施設です。



職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「いけばなに捕まって」

西原 裕子



子どもが五歳のときに、「少し自分の時間がほしいなあ」と思って始
めたいけばな。あれよあれよと十年以上たち、その子はもう十七歳。
私は師範となり、今も稽古で汗をかいている。最初は気晴らしのつも
りだったのに、すっかり花に捕まってしまった。調布の上の原小学校
で子どもたちに花を教えることもある。小さな手で器に花を挿す姿を
見ていると、「意外とちゃんと見てるな」と驚かされる。時にこちら
がハッとするような配置を見せてくれるのだ。子どもって、ほんとに
油断ならない。時々、施設の受付カウンターにも花を飾らせてもらっ
ている。お稽古で余った花と、利用者さんの陶芸作品の器。花も器も
「私の出番」とばかりに並んでいる様子は、見ていてなんだかうれし
い。花を前にすると、余計なものをそぎ落としていく作業になる。

枝を抜き、葉を落とし、「この一本がいちばんキレイ
だね」と見つけてやる。すると自分の心の余分まで消
えていく。つまり、いけ直されているのは私のほうな
のだ。家元は「花と対話しなさい」とよく言う。最初
「何それ」と思っていたけど、最近少しわかってきた。
支援の現場で、利用者さんの心の声をどう引き出すかを考えるのと、
どこか似ている。むしろ、利用者さんや花のほうが、私のいいところ
を引き出してくれているのかもしれない。ありがたいことだ。

お知らせ

調布市北部公民館文化祭で、子ども教室の元気な作品が並びます。10/24(土)～11/2(日)
後期には講師陣の作品も登場します。ちょっと足をとめて見ていただけたら、花もよろこぶと思
います。